

第266回 Maharaでルーブリックを 利用する方法とその活用

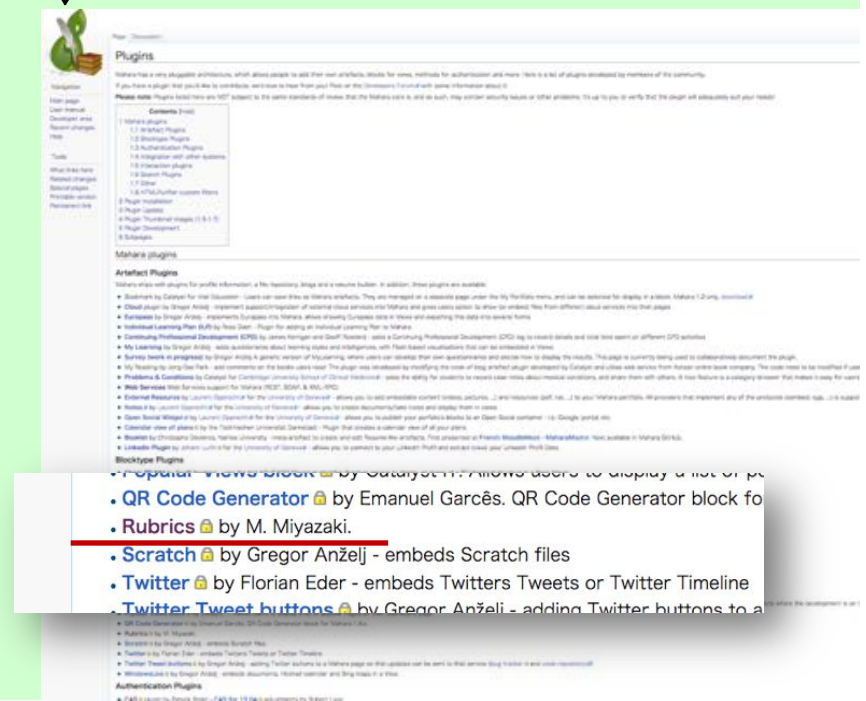
- 2011年からMaharaを使い始めました
- Maharaでルーブリック?
- Maharaのルーブリックでやりたいこと
 - 授業改善サイクルモデル
 - 学習のための評価と学習の評価
- 授業のルーブリック(評価基準)を作成するには
 - なぜeポートフォリオにルーブリック?
- Maharaで実際に授業で使ってみました
 - 使った74名全員、授業中に躓くことなくできました



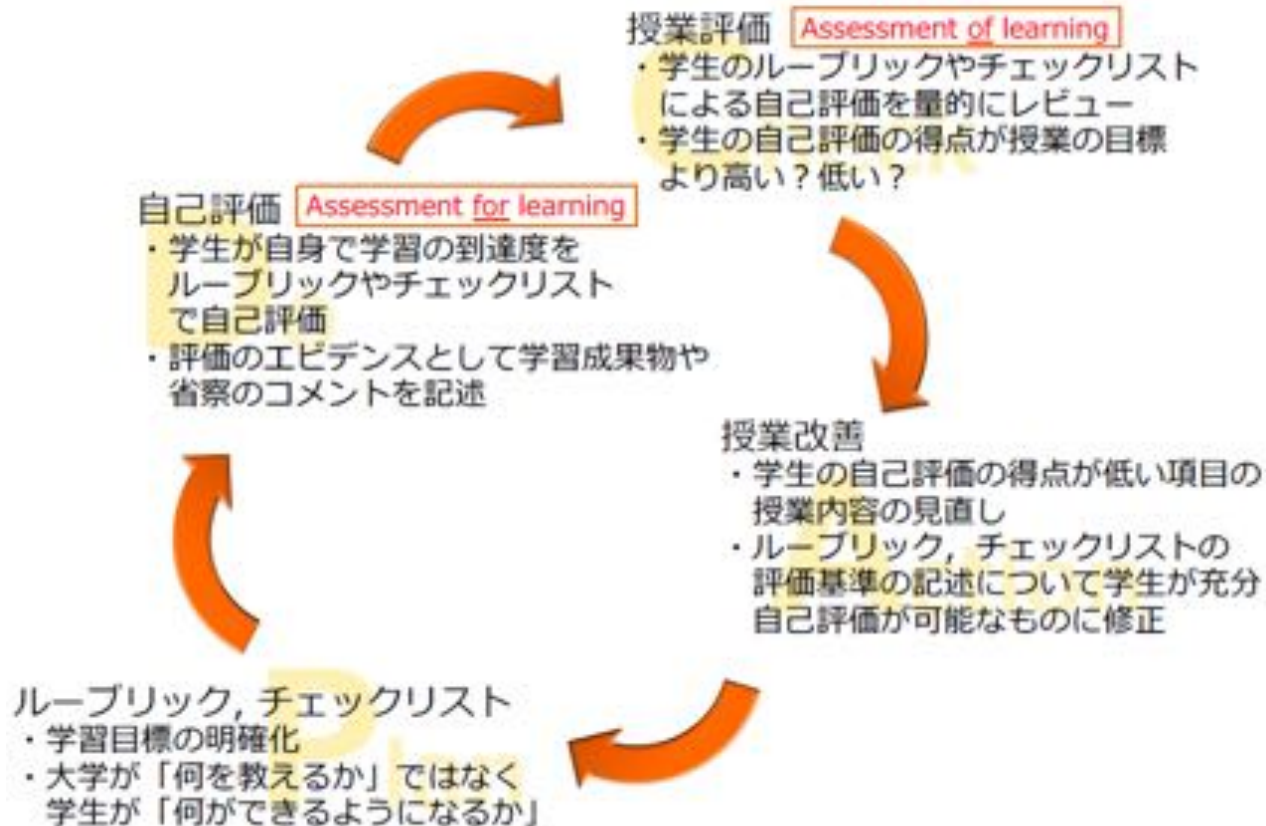
MUG(マグ)?

Maharaでルーブリック？

- Maharaにはルーブリック機能はありません！
- プラグインとして作りました↓
 - 公式ページにリストされました
 - GitHubで公開しています
- 一緒に開発してくれる人募集中です
- インストール方法



授業改善サイクルモデル



学習のための評価と学習の評価の2つの評価活動

学習目標の明確化、PDCAサイクルによる真正な学習到達度評価



学習のための評価と学習の評価

Assessment for learning
学習のための評価

Assessment of learning
学習の評価

学習者と合意された目的

規定された目的

学習者によって選ばれた、フィードバックのあるアーティファクト

外部で利用するために管理され、点数付けされたアーティファクト

学習者によって整理される

教師によって整理される

形成的(現在から未来)

総括的(過去から現在)

学生中心

組織中心

内発的動機づけ

外発的動機づけが要求される

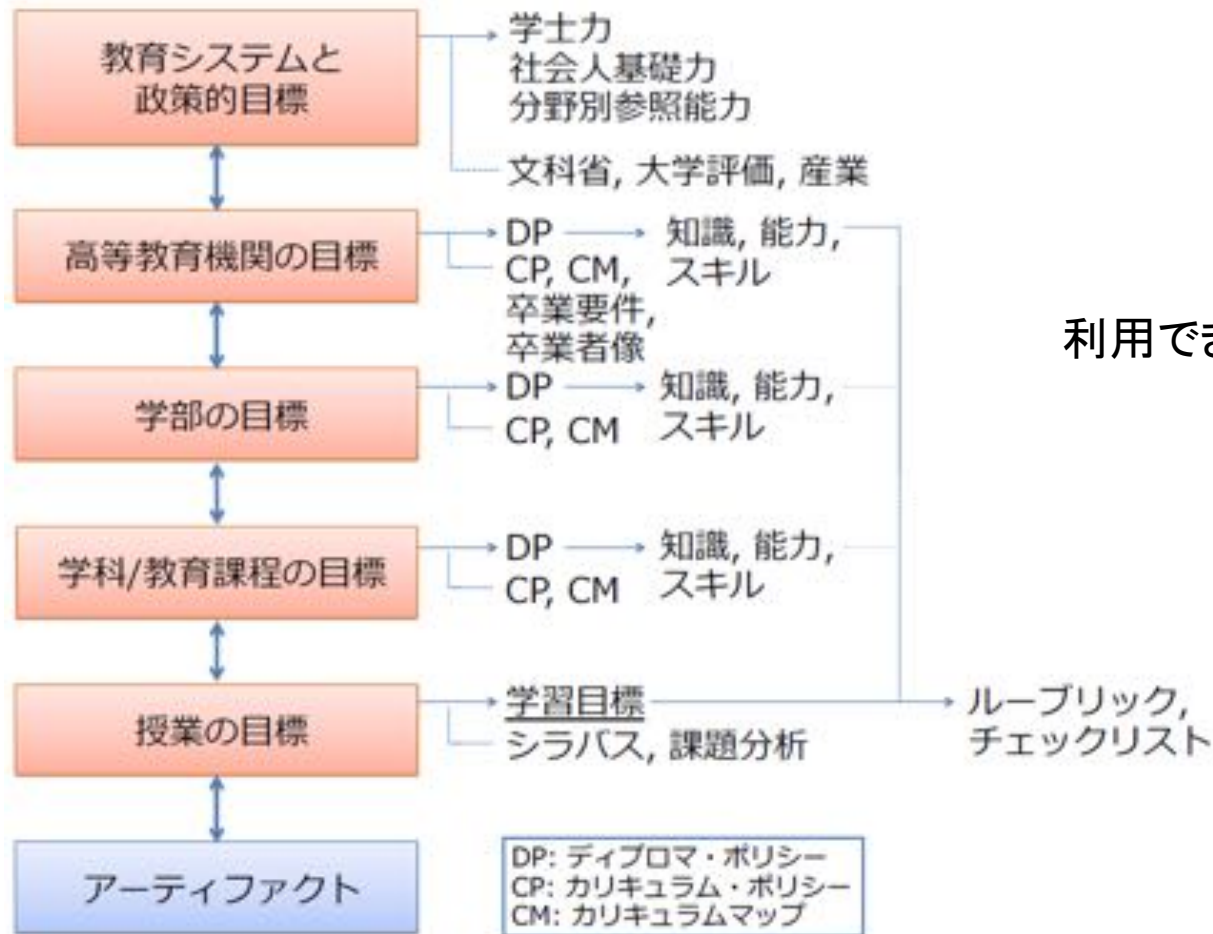
構成主義

実証主義

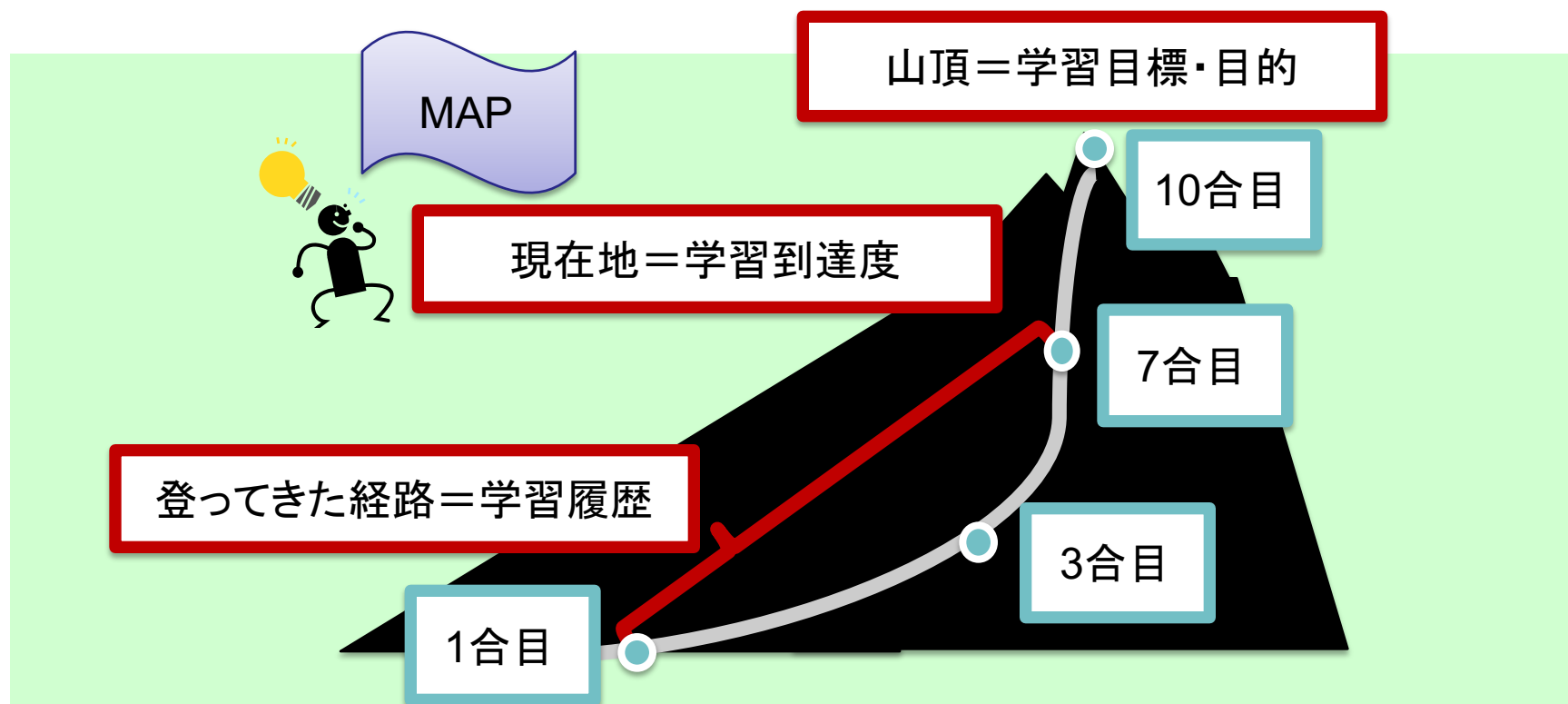
出典: Barrett, H. 2004. "Electronic Portfolios as Digital Stories of Deep Learning"



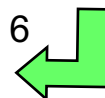
授業のルーブリックを作成する



なぜeポートフォリオにルーブリック？



学習目標としてスキルやコンピテンシー等(山頂)を定義し、学習の学習到達度をいくつかの段階(山頂までの道のり)で表す。到達度の判断基準は、それぞれの段階の詳細な記述語により判断できるようにする。



使ってみました

- 1年次必修科目「情報処理演習Ⅱ」2クラス
 - 36名 + 38名 = 74名
 - 情報リテラシールーブリックで入学してこれまでに学んだこと(情報処理演習科目に限らない!)を自己評価する
 - 学習到達度を自己評価
 - エビデンスとしてファイルをアップロード
 - 振り返りやコメントを記述
 - 自己評価結果を集計して授業を評価

学生の自己評価方法



教員の授業評価方法

The image displays the Mahara ePortfolio interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'コンテンツ', 'マイポートフォリオ', and 'グループ'. Below this, there are tabs for 'ループバック' and 'テンプレート管理'. The 'ループバック' section has a red dashed circle around the '新しいループバック' button. The 'テンプレート管理' section has a red dashed circle around the 'テンプレートを保存する' button. On the right, the '情報リテラシー' table shows a grid of data for various subjects, with a red dashed circle highlighting the '達成' column.

ユーザーコミュニティ

- Mahara User Group: MUG
 - ユーザの有志で活動しています
 - 日本は MUG-Japan
(Mahara Open Forum のメンバーで立ち上げ)
- ユーザーカンファレンス
 - Mahara hui 2015 in NZ, Mahara hui UK 2015
 - MOF2016@山梨大学
 - 9/7(水), 8(木)

[Maharaパートナープログラム](#)もあるよ



Maharaパートナープログラム

- 2015年9月から新しい制度に！
- ビジネスパートナーとサポーターの2種類
- パートナープログラムへの参加は無料！
- ビジネスパートナーの場合，例えば...
 - Maharaコミュニティサイトに掲載される
 - Mahara Business Partner のロゴが使える
 - Maharaの機能についての定例ミーティングに参加できる
 - マイナーリリースの1週間前に事前にアナウンス
などなど

Mahara Partner Programme <https://mahara.org/view/view.php?id=132123>

